

三菱ふそう^{*1} 環境・社会報告書2005について

■編集方針

三菱ふそうは、トラック・バスという公共性のある製品を世の中に送り出す企業として当社の企業理念、環境保全の取り組みをステークホルダー（利害関係者）の皆様へ情報開示することを目的とし、環境報告書を発行してまいりました。

2005年度版では社会貢献活動の更なる充実を目指し、タイトルを「環境報告書」から「環境・社会報告書」に改め、「人にやさしい製品の普及」、「福祉活動」なども含めて当社の活動を幅広く紹介致します。

本報告書作成にあたっては、環境省発行の「環境報告書ガイドライン（2004年3月発行）」に基づいて掲載内容の充実を図り、一般の方々にも読んで頂けるよう分かりやすさの向上に努めました。

■報告対象期間

基本的に2004年度（2004年4月1日～2005年3月31日）の実績をまとめています。一部2005年度の実績も記載されています。

■報告対象範囲

三菱ふそうの日本国内における環境活動、社会活動を報告致します。環境活動については、企業活動全体を通じた環境負荷の低減実績やその活動について、トラック・バスの開発・設計、調達、生産、物流、販売、廃棄・リサイクルという流れで解説致します。

企業概要

シンボルマーク



商号

三菱ふそうトラック・バス株式会社
(Mitsubishi Fuso Truck and Bus Corporation)

設立

2003年（平成15年）1月6日

本社

〒108-8285
東京都港区港南二丁目16番4号
TEL 03-6719-4601（総務部直通）

資本金

200億円

目的

- 1.トラック、バス、商用車その他の自動車並びにその構成部品、交換部品及び付属品の開発、設計、製造、組立、売買、輸出入その他の取引業。
- 2.農業用機械及び産業用エンジン等並びにその構成部品、交換部品及び付属品の開発、設計、製造、組立、売買、輸出入その他の取引業。
- 3.中古のトラック、バス、商用車その他の自動車並びにその構成部品、交換部品及び付属品の売買。
- 4.計量器、測定器、分析機器等精密機械器具の販売。
- 5.損害保険及び自動車損害賠償保障法に基づく保険の代理業。
- 6.金融業。
- 7.前各号に付帯関連する事業

従業員数（2005年3月末）

4,209名（単独）

売上高（2004年度）

5,137億円（単独）

ホームページアドレス

<http://www.mitsubishi-fuso.com>



^{*1} 三菱ふそう：本書の中で特に断りがない場合「三菱ふそう」は三菱ふそうトラック・バス株式会社を示しています。

目次

三菱ふそう環境・社会報告書2005について	編集方針、対象期間、対象範囲	P. 1
企業概要	商号、住所、資本金、目的、従業員、売上高、他	P. 1
目次	項目、概要、ページ	P. 2
ごあいさつ	取締役会長、取締役社長	P. 3
経営方針	企業理念、ビジョン	P. 4

環境活動 環境マネジメント

環境指針	三菱ふそう環境指針と企業理念、ビジョン	P. 5
組織体制	環境会議、環境担当組織	P. 6
環境サステナビリティプラン	中期目標、2004年度目標と実績、評価	P. 7
環境監査	環境監査のプロセス、体制	P. 9
緊急時対応、環境に関する事故など	緊急時の対応、環境関連の事故／苦情／訴訟／リコール	P. 9
ISO14001への取り組み	事業所・国内外関連会社の認証取得状況	P. 9
関連会社の取り組み	関連会社との連携	P.10
コミュニケーション	環境報告書の発行、インターネットでの情報提供、外部行事への協力	P.11
社内教育/啓発	階層別社員教育、資格取得推進、環境月間の活動	P.12
環境会計	環境保全コスト、環境保全効果、環境保全対策に伴う経済効果	P.12

環境活動 環境負荷低減への取り組み

自動車の一生と環境負荷	ライフサイクル各段階での環境負荷	P.13
開発・設計	地球温暖化防止、大気汚染防止、低公害車の開発、他	P.14
調達	グリーン調達（取引先の環境マネジメントシステム構築促進）	P.20
生産	省エネ、廃棄物低減、大気・水質等の汚染防止、化学物質管理、他	P.21
物流	完成車輸送におけるCO ₂ 排出量削減、梱包・包装資材の削減	P.25
販売	販売会社における環境保全への取り組み	P.26
リサイクル	自動車リサイクル法への対応、使用済みトラックのリサイクル、他	P.27

社会活動

品質保証	品質改善への取り組み	P.29
企業倫理	企業倫理の取り組み	P.30
お客様との関わり	お客様相談センター、情報提供	P.30
従業員との関わり	安全衛生、人事制度	P.31
人にやさしい製品の普及	ノンステップバス、福祉車両の普及	P.32
福祉活動	地震、津波被災に対する支援	P.32
スポーツ活動	スポーツイベント等への協賛、野球	P.33
地域社会への貢献	地域の皆さま／団体との共生、周辺地域の清掃・緑化	P.33

トピックス

自動車リサイクル法スタート準備	社内の横断的な協力	P.34
エコアクション21への取り組み	お取引先への支援活動	P.34
海外関連会社の環境保全活動	MFTE/MFTTの環境保全活動	P.35

付録

製作所レポート	製作所・関連会社の工場環境データ	P.36
編集後記	ふそうの由来、編集後記、報告書における環境配慮	P.38
アンケート	環境・社会報告書2005アンケート	挿入

ごあいさつ

「信頼度No.1企業」を目指して

三菱ふそうは過去1年半あまり、一連の品質問題に関する調査、分析、市場措置対応に全力を注いで参りました。その間、ご利用いただいておりますお客様をはじめ、関係各位に甚大なるご迷惑をおかけしたことを改めてお詫び申し上げます。これまでの経緯は私が責任を持って引き継ぎ、過去の過ちを決して忘れることなく、引き続き品質クリーンアップ作業に全力を上げて取り組む所存です。そして、「信頼度No.1企業」を目指して、「品質問題の再発防止」のみならず、「企業文化の改革」に努力を重ねて参ります。

品質と同様に環境も当社の最重要課題の一つと位置付け、活動を推進します。

2005年1月からの自動車リサイクル法本格施行に引き続き、2月には京都議定書が発効し、温暖化防止をはじめとする地球環境保全への関心は世界中でますます高まっています。三菱ふそうは、自動車リサイクル法に確実に対応するとともに、京都議定書の目標達成に貢献するため燃費低減と工場の省エネ活動を促進し、さらに大気環境改善のための排出ガス低減等様々な取り組みを実施しています。自動車の開発から調達、生産、廃棄(リサイクル)まですべての段階において最大限努力し環境負荷を低減することは、これまでお世話になってきたお客様や社会に対する恩返しであると同時に、我々の子孫に対する義務であると認識しています。こうした考えのもと、三菱ふそうは持続可能な循環型社会の構築に寄与すべく、環境への取り組みをより一層推進して参ります。今後三菱ふそうは親会社であるダイムラー・クライスラー社との協業をさらに促進し、安全性、快適性、環境性能等全ての面でお客様にご満足いただけるトラック・バスの開発・製造に全力で取り組んでいく所存です。そして、地域社会、国際社会の一員として地球環境保全活動を全社的に推進いたします。

三菱ふそうトラック・バス(株)
取締役会長(代表取締役)
企業倫理担当役員・CBEO

江頭 啓輔

江頭 啓輔



「環境・社会報告書2005」の発行にあたり

トラック・バス製造において強力なブランド力と伝統のある三菱ふそうの社長、CEOに就任し、この場で環境報告書をご覧のみなさまにご挨拶できることをとても光栄に思います。今回の2005年版よりタイトルを「環境・社会報告書」と改めました。環境保全活動についてはもちろんのこと、弊社の企業倫理・品質に関する基本方針や社会貢献活動についてもできる限り詳しくご報告致します。

三菱ふそうは、中期計画「環境サステナビリティプラン」により、製品ライフサイクルにおける全ての分野で目標を設定し、環境取り組みを推進しています。その達成状況については厳しく評価を行い、その結果をありのままご報告させていただきます。

製品寿命の長いトラック・バスの場合、燃費・排出ガスの低減が重要なことは言うまでもありませんが、循環型社会構築のためにはリサイクルも重要です。2005年1月からの自動車リサイクル法の本格的施行を受け、三菱ふそうは確実な取り組み体制を構築し、活動中です。

グリーン調達については、まだ、全てのお取引先が環境マネジメントシステムの認証を取得するには至っておりませんが(82%が取得)、今後も引き続き認証取得活動を支援していく予定です。

さらに今回は環境会計に関して、「環境保全コスト」に加え、「環境保全効果」および「環境保全対策に伴う経済効果」を算出しました。今後さらに充実化を図り、環境マネジメントを定量的に評価していく所存です。

三菱ふそうはこうした活動をととしてダイムラー・クライスラー社との協業を最大限に生かし、常に高い志を持って、企業活動を推進しております。

本報告書で三菱ふそうの環境・社会活動への姿勢をお伝えしたく、皆様の率直なご意見、ご感想を頂ければ幸いです。

三菱ふそうトラック・バス株式会社
取締役社長
最高経営責任者(CEO)

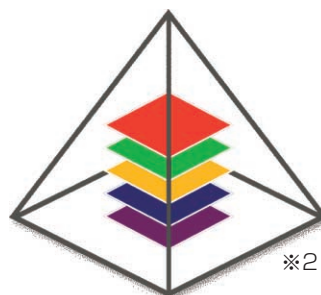
ハラルド・ブルストラー



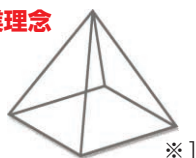
経営方針

■企業理念・ビジョン

2004年三菱ふそうトラック・バス株式会社は、企業活動全ての原点である企業理念と将来あるべき姿としてのビジョンを制定しました。我々ふそうの社員はこの企業理念を遵守し、“信頼度No.1企業”を実現すべくビジョンを構成する8つのエレメントを追求していきます。



■企業理念



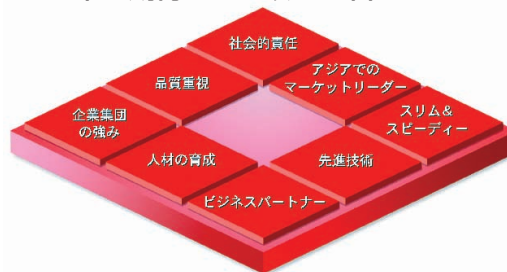
顧客ビジネスとの相互繁栄
輸送の未来に最も貢献する企業
継続的な成長の追求
常に挑戦しつづける企業風土

■ビジョン



信頼度No.1企業へ

常に期待される以上の答えを。



社会的責任

透明性を持った積極的な社会貢献を通じ、社会の一員として責任を果たす

品質重視

すべての事業活動、ビジネスプロセスにおいて品質を常に優先させる

アジアでのマーケットリーダー

ふそうのアジアでの役割の重要性を認識し、アジアでのマーケットリーダーの地位を確保

企業集団の強み

DC商用車部門、及び三菱グループの一員として強みを最大限生かした企業活動の展開と拡大

スリム&スピーディー

変化に機敏に対応できる企業体質を目指し、全社員、全職場がスリムでスピーディーな業務の遂行を徹底

人材の育成

日本のリーダーとして世界に通用する人材及びその道の匠となる人材の育成と輩出

先進技術

高度化する社会システムと地域・地球規模での環境問題に対応する商品の開発とタイムリーな提供

ビジネスパートナー

高度化する顧客ニーズに対し、顧客の視点に立ち、顧客と共に解決していくビジネスパートナーとしての役割を追求

解説

※1 : ピラミッドのロゴマークは、ふそうの4つの企業理念を示しています。企業理念はそれぞれバラバラに存在しているのではなく、一体となっていることを表現しています。

※2 : 5色の四角はそれぞれ以下の意味があります。[赤=ふそうが目指す姿(ビジョン)、緑=ストーリーライン遂行による達成目標、黄色=ビジョン・ストーリーラインに向かって推進すべき具体的方針、青=ダイムラー・クライスラーグループの一員、紫=ふそうの伝統] (ストーリーラインは中期経営方針、ビジョンを実現するためのマイルストーン)